

平成24年9月定例教育委員会会議録

平成24年度塩尻市教育委員会9月定例教育委員会が、平成24年9月27日、午後1時15分、塩尻総合文化センター302多目的室に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 主な行事等報告について
報告第2号 10月の行事予定等について
報告第3号 後援・共催について
報告第4号 市議会9月定例会報告について

4 議 事

5 その他

6 閉 会

○ 出席委員

委員長	小 澤 嘉 和	職務代理者	渡 辺 庸 子
委員	田 中 佳 子	委員	石 井 實
教育長	山 田 富 康		

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	小 島 賢 司	こども教育部次長 (教育総務課長)	古 畑 耕 司
こども課長	羽 多 野 繁 春	家庭支援室長	清 水 進
生涯学習部長	加 藤 廣	生涯学習部次長 (社会教育課長)	中 野 実 佐 雄
文化財担当課長	渡 邊 泰 実	平出博物館館長	小 林 康 男
スポーツ振興課長	青 木 実	男女共同参画・人 権課長	熊 谷 善 行
市民交流センター長	田 中 速 人		

○ 事務局出席者

教育企画係長	上 條 史 生
--------	---------

1 開会

小澤委員長 こんにちは。少々時間、早いわけですが、これから9月の定例教育委員会を開会したいと思います。

2 前回会議録の承認について

小澤委員長 それでは、次第に従いまして、2番の前回会議録の承認について事務局からお願いいたします。

上條教育企画係長 前回8月定例教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

小澤委員長 よろしいでしょうか。

3 教育長報告

小澤委員長 3番、教育長報告に入ります。教育長のほうからお願いします。

山田教育長 お願いします。報告いたします。初めに悲しい報告をしなければなりません。先週9月18日火曜日の夕方午後6時10分ころであります。塩尻西部中学校の2年生、男子生徒が下校途中交通事故に遭い尊い命を落としてしまいました。平出地籍の県道を帰宅歩行中、後方から来た車にはねられるという何とも痛ましい事故でありました。本日、参会の皆様方とともに心より御冥福をお祈りしたいと思います。

私自身のことを話して恐縮でありますけれども、塩尻西部中学校に教育相談員として出向いた際に、授業での彼の姿を幾度か参観いたしました。その中でもとりわけ技術科の授業では、自分の作業を後に回しても困っている友達の相談に乗り、時に手を貸しながら友達の立場に立ってテーブルタップの制作に向かう姿が、今も印象深く脳裏に残っており、事故の報告と名前を聞いた時には、その時の姿が私の中に鮮明によみがえり、そのつらさ、悲しさ、喪失感はとて大きなものであります。御家族はもちろん、一緒に歩いていた生徒、直前まで一緒に部活動を行っていた生徒、学級の仲間や学年の仲間、担任を初め先生方など多くの方が一瞬にして大切な人、身近な人を亡くし、強い心の痛みを今も持っております。今、学校では当事者にカウンセリングを続けながら、心のケアを進めているところであります。また、それと同時に改めて命の大切さについて学び、交通安全についても再度考え、実践していこうとしているところであります。

私はもちろんであります。委員さん方もそうだと思います。このところ各学校の運動会に出向きました。運動会では躍動する児童の姿を見、また学校訪問の授業参観では、集中して力いっぱい課題に向かう子供たちの姿を見、また市の武道大会の柔道競技の部では、全身のエネルギーを一点に集中した力強い小さな子供たちのせめぎ合いを見ました。音楽発表では全身を躍動させながら歌い表現する子供たちの姿も見てきました。こうした今まさに生きている子供たちのひたむきな様子は、未来社会の明るささえ見通すことができます。しかし、被害生徒はそうした未来への限りない可能性を秘めながら、それを十分開花させることなく、また願う未来の世界をみずからの目で確かめることなく、一番大切な命を失ってしまいました。

この生と死の両極のはざまに立っている時、未来ある子供たちがおのれの意志にそぐわないままその生命を奪われるということは、耐えられぬほどつらいものであります。被害生徒のお父さんは、塩尻西部中学校の生徒に二度とこうしたことが起こらないようにしてほしい、そして、私の子供の分までしっかりと生きてほしいと願ったそうですけれども、その言葉のとおり、何としても未来ある子供たちの命を交通事故から守っていかなければならない、そういうことを強く思わされた事故でありました。

教育委員会としても再度子供たちの命を最優先にした取り組みを重視していくように誓い合いたいと思います。そこで、市内の各学校には教育長名で登下校の交通安全についての一層の注意を払うよう通知を出したところでもあります。また、重ねて教職員自身が加害者にならぬよう、ゆとりを持ち、ルールを遵守した運転に心がける旨、連絡をいたしました。さらに来月10日には、各学校の安全教育担当者を集め、各学校の交通安全に向けた取り組みの状況について情報交換をしたり、全市共通で交通安全についての配慮点や取り組みの方向などを確認し合ったりして、交通事故を起こさないことや交通死亡事故ゼロを誓い合いたい、そんなことを考えております。

話は少しそれるわけではありますが、実は学校、これは保育園も入るわけですが、交通事故のほかにも、子供たちの生活の中には命の危機に瀕することが多く潜んでいるのではないかなというように考えます。転落や転倒による事故、地震や落雷、土砂崩れなどの自然災害、熱中症やアレルギー、食中毒、感染症、心疾患や中枢神経系の疾患などの突然の病気、火災や強度のやけど、川や池や水路やプール等でのおぼれ、そして最近もありました児童、生徒の自殺などがあります。交通死亡事故ゼロとともに児童、生徒の死亡事故ゼロを目指し、これからも予防的な危機管理に配慮するよう校長会を通してさらに指導をして、子供たちの命を守ってまいりたいというように思います。

最後になりますけれども、一昨日、市議会9月定例会が終了いたしました。教育委員会の取り組みについては、何人かの議員さんから幾つかの一般質問や福祉教育委員会での質問がありました。この後、報告第4号で扱いますので、お気づきになったこと、今後の取り組みについて配慮が必要なこと等、御意見を聞かせていただきたいと思っております。

また、今週末には、一大行事であります短歌フォーラムが行われます。塩尻発の文化の祭典であります。様子を見ていただき、これから言葉や日本語を大切にしようとしている塩尻市、次年度以降どのようにこの短歌フォーラムを発展させていったらよいか、また御意見を伺えればありがたいと思っております。

なお、これまでの行事の詳細につきましては、できるだけ読みやすいように形式を整えながら資料といたしましたので、そちらのほうを確認いただき、御意見がありましたらまたお出しただければありがたいと思っております。以上で私からの報告を終わりにいたします。

小澤委員長 ありがとうございます。この際であります、委員のほうから御質問、御意見ございましたらお願いします。

なお、9月18日の西部中学校男子の交通事故死の件でありますけれども、教育委員の皆さんには現場へ出向いたり、あるいは学校へ顔を出してくださったりして、本当にありがとうございました。

石井委員 教育長先生、今、クマの話は出ませんでした、ちょっと補足説明をお願いします。

山田教育長 西部中学校の近くで、このところクマの出没が報告されておりました。緊急の放送でも流れておりましたけれども、昨日、そのクマ、雄のクマであります、猟友会の皆さんによって射殺をされたという、そういう通知が入ってまいりました。学校のほうでも生徒が被害に遭わないよということ、生徒たちの登下校の時間帯街頭に立って見守っていただきましたので事故に及ぶことはなかったわけですが、先ほどの命の危機といったことの中にも入る事例であります。また、先日宗賀中央保育園へお邪魔した時に、園長先生から秋の園外保育がクマ出没ということでなかなか予定どおりできなくて、通常の経路ではなくて心配のないところへ場所を変えて行わなければいけないというようなことも聞いておりますので、これからはクマを初め、動物の状況についても把握をし、それぞれの学校に注意を促して児童生徒が被害に遭わないよということ、進めてまいりたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

石井委員 実は、私はそんなに洗馬でも山の中に住んでるわけじゃないですけども、すぐ隣の畑できのうブドウを切ってましたら、3発の銃声が聞こえて、70キログラムくらいある親グマですけど、かなり大きかったですね。小グマがまだ逃げて、どこかへ行っちゃって見当たらないという状態です。そんなことで、親グマがそういうことで、猟友会でもって始末をしてくれたということで一安心と言うんですか、そんなところですか。西部中のすぐ西側の沢です。

小澤委員長 気をつけていきたいなと思います。特によろしいでしょうかね。ありがとうございました。

○報告第1号 主な行事等報告について

小澤委員長 それでは報告第1号、主な行事等報告について、移ります。資料の1ページから、きょうは多くて6ページまで。こども教育部、生涯学習部、市民交流センターそれぞれありますけれども、参加された中での意見、あるいは御質問等ございましたら、お願いします。

上條教育企画係長 済みません、1点補足させていただきます。6ページをごらんいただきまして、9月2日、いつでもサイエンスコーナー・理科読という催しですけれども、参加人数が292人ということでございます。よろしく願いいたします。

渡辺職務代理者 9月15日の豊かな心を育む市民の集いで、私ちょっと出られなかったんですけど、出た人からお聞きすると、なんかすごく人が少なかったんだそうです、がらがらで。いい話だったのにもったいなくなって言ってたんです。だからPRの方法だとか、時期の設定に少し問題があったのかなとは思ってますけど、どうなんでしょうかね、実際のところ。

羽多野こども課長 確かにですね、そこにもありますように250名ということで、1,200人入るところですから、大変少なかったということでございます。それで、PRの関係でございますが、ポスターができてPRを始めたものが、ちょっと遅かったっていうことも当然あるんですけども、一番は日の設定なんですね。実は大門地区のお祭りとか、それから小学校の運動会等と重なりました、大変行事が多い時だったんですけども、これが今年の12月の時点で来年1年間のレザンの日程を組む際に、大ホールが土日であいているところ、それから市の大きな行事がないところということでの選択をしていきましたら4月に一日と、この9月15日しかあいてなかったと。4月早々というわけにもいかないからということで、9月15日を設定したようですけども、そういう周りのほうの行事もあったということで、来年度以降につきましては、大ホールがいいのかという問題もありますけれども、中ホール自体が常にいっぱいな状態なものですから、大ホールしかあいてないっていう実態もあります。それからほかにも、うちの青少年の関係と、それから人権課と男女共同参画、以前はこの3つありまして、すべての行事を一緒にしてやってきたという経過がございまして、今は、男女共同参画と人権課と一緒にしてるものですから、こども課との隔年の開催になっているんですけども、昨年度は、たまたま男女共同参画のほうの県の大会と一緒に開催をしたということで、大分人が集まったんですけども、ことは単独での事業ということと、それからそういう行事が重なっている部分がありますので、来年度は日程的なことを最優先で、レザンとも相談しながら、11月のころとかっていうような時期をまた選定をして考えていきたいと思っております。いずれにしても市の行事がいろいろ立て込んでいますので、どこにしても当たってしまう部分があるかと思っておりますので、他の事業との合併って言いますか、統合等も考えながらちょっと検討させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

石井委員 本当にもったいなかったですね、すごくいい話で。元プロ野球で悪役で、どんな話するかなどと思って行ったんですけども、子育てから何からすばらしい話が。他人の子供をきちんとしかれるようにならなきゃだめだっというふうな話から、すごくいい話だった。もったいなかったなと思

っております。あれでは、講師に失礼ですね。

小澤委員長 今、来年度に向けて精選の方向を探っていきたい、あるいは、いろいろの部署との合併、合同でやっていきたいという方向を示されました。また、この時期、幾つもの行事が重なります。先週のスポーツフェスティバルも防災と重なりました。ですから、精選の方向はいいと思うんですが、市が企画してやる方向から地区へはどうでしょう。今、地域の絆とか関係の強さっていうのを求める方向にきています。ということになった時に、市がどんと企画をするという方向から地区へ分散して、地域がこじんまりとした企画のもとに地域の人たちが集まって何かをする。そこで絆を確かめ合うと。分散にしていってということも考えられはしないかなと、そんなことを感じました。

田中委員 生涯学習部の行事で、これも短歌大学なんですけれども、私出席していなくてお伺いして申しわけないんですが、短歌フォーラムの投稿者が、学生以上の若い世代で少し減ってきているようなお話も以前お伺いしましたけれども、短歌大学の参加者で若い世代の参加があったということですが、どのくらいの世代で、何人くらいいらっしゃったか、また、感想があったらちょっと教えていただきたいと思います。

中野生涯学習部次長（社会教育課長） 若い世代はですね、当日の参加者では恐らく30代くらいから来ていたかなと思います。人数的には5人くらいだったかなと思います。穂村先生につきましては、ファン層というのは少し若くですね、去年のフォーラムの時に学生の部の選考をしていただきました。その時も高校生のファンが来場していたことがありまして、穂村先生にちょっと御協力していただける間は、いろんな形で若い世代にアピールとして、こちらとしての考えですけども、御協力いただければありがたいというふうに思っています。ただ、この時に少し学生を呼ぼうかなと思ひまして、短歌大学は一人1,500円の参加料がかかるものですから、学割の制度を設けて、500円で、高校にチラシなどで、案内をしたのですが、残念ながら高校生の参加はなかったという状況です。

田中委員 ありがとうございます。工夫してくださって、そうやって若い世代の投稿も今後ふえていけばいいかなと思います。ありがとうございます。

小澤委員長 私からもう1点。中野課長さん、地域の短歌館だとか、自然博物館だとか、資料館だとか、めぐむための割引チケット、非常に好評だったということで、私もいいアイデアだなと思ったわけでありまして、6,000枚の配布状況をお願いします。

中野生涯学習部次長（社会教育課長） この利用促進キャンペーンにつきましては、入館された方に対して配布したということでございます。ですので、例えば中村邸に300円で入られた方に対して券をお渡しして、市内のどの館でどういう催し物をやっているかという案内とともに、100円を入れる券を3枚お渡ししたという、そういう配布の仕方しておりますので、この人数につきましては、この間にそれぞれの館で入られた有料、300円の正規の料金で入られた方の人数ということになります。せっかくですので少し御報告をさせていただきたいと思いますが、その券を使って入られたのは747枚ということで、全体の12%の方が御利用になったということで、一番多かったのはやはり中村邸と奈良井宿の中の歴史民俗資料館ということで、やはり近いということもございまして、一つの駐車場にとめれば両方見れるという形で御利用された方が多いかなと思っております。ただ、特徴的なもので言いますと、贛川の関所で使われたものが、贛川地区のほかの3館に対してかなり入っていたということで、贛川の関所については出た枚数のほうが非常に多かった、入られる方よりも多かったという傾向がございまして、それから、奈良井の歴史民俗資料館の券が平出博物館で使われていたりとか、自然博物館で出された券が中村邸で使われていたりとかという、そういう傾向が若干ですけどもありましたので、今後ともこういう結果に基づいて少しいろんなことでPRの仕方を考えていきたいというように思っております。

小澤委員長 ということは、県外の子供たちも結構券を使って塩尻の文化財に触れたというふうにとらえてもよろしいでしょうか。

中野生涯学習部次長（社会教育課長） 子供は原則無料になっているものですから、子供の人数は入ってませんが、親と一緒に来たということも考えられますので、そういう傾向は、しっかりと数字的なものはつかんでおりませんが、考えられるというふうに思います。

小澤委員長 12%が親について利用したってことは、やはりリピーターの芽もあるなど読み取れるわけであります。

中野生涯学習部次長（社会教育課長） 1回入っていただいて、例えば自然博の特徴は、自然博で出た券がまた自然博で使われたということがございまして、やはり一たん入った人が、また違う子供と、その券を使って親御さんが別の子供を連れて来たとかですね、そういうこともありますし、リピーターになっていただければ一番ありがたい話ですので、それはこちらとしての今後のどういう情報発信をしていくかっていうところにかかるんじゃないかなというふうに思います。

小澤委員長 今後またこのような仕掛けと言いますか、アクションをお願いしたいと思います。

もう1点、水泳大会の件であります。小坂田のプールが次の日に終わるという時期に設定されたわけであります。大会としては11個の新記録が出たってことは、大変すばらしいと思えました。ただ一般参加者が少なくて小中学校に偏ったっていうのは、ちょっと残念だなと思うわけであります。それで、開催時期でありますけれども、ことしは例年より1週間遅れました。あの時期、私も思い出すわけでありまして、小坂田のプールの立地条件もあり風が非常に冷たいし、夏から水温も相当下がってくるような状況じゃないかと思うわけであります。もう1週間早めるような試みは、校長会とか学校現場と一緒にすり合わせて、模索することはできないのかということをおもうんですが、いかがでしょうか。

青木スポーツ振興課長 そうですね、去年は雨で中止でしたが、今年度は天候に非常に恵まれてよい大会でした。毎年の暦の関係もございまして、今年は少し遅くなってしまったかなというところはございますので、今、委員長さんがおっしゃられたとおりに、来年以降は、学校等とも相談しながら検討をしてみたいと思います。

小澤委員長 お願いします。

石井委員 済みません、今の件でいいですか。その日の気温と水温教えてください。大会当日の。

青木スポーツ振興課長 今、資料を持ち合わせておりませんので、後ほど御報告させていただきます。

石井委員 水泳の一番いいのは水温18度、これがオリンピックやなんかのプールの温度だそうですね。ですから、かなり冷たいほうが記録が出るというようなことがありますので、それに寒くても水温18度ってのはありますので、そこら辺また参考にしてもらって。

小澤委員長 はい、お願いします。

石井委員 いいですか。ファミリースポレクですけれども、前回の会議の時に課長さんも随分心配しておられて、もう24回目で、どんどん人数が減ってきて、考え直さなきゃいけないかなんていうようなことをおっしゃっていましたが、ことしはかなり盛況で、ここにあるように2,000人というようなことが書かれておられて、企画するほうもいろいろ新しいものが企画されて、よかったかなと思っておりますけれども、ただ、けが人が出たということが、ちょっと何でスポレクに行ってけが人がってことになっちゃうんで。特に体力テスト、反復横跳びはけが人が出やすいんで、そのところでもって指導する人が、やはりちょっと勉強してもらいたいなど。だから指導者の指導ってことが大事だなというふうに思いますが、一つまた考えておいていただいて。今、判定員の資格を取ったのは、約20年前くらいに取った皆さん方が今やってるかなと思います。だからやはり、途中でもって再教育をするということも必要ではないかなというふうに思いますので、お

願いをしたいと思います。

小澤委員長 事業評価の中でもぼつぼつ考えていかなくちやいけないとありました。考えるということは、何か考えてると思うんですが、そんなことも含めながら、ここで発表できることがあったら話していただいて、なければ聞きおくだけで結構だと思います。

青木スポーツ振興課長 特には、ございません。

小澤委員長 はい。主な行事等報告、よろしいでしょうか。

○報告第2号 10月の行事予定等について

小澤委員長 それでは、10月の行事予定等についてお願いいたします。資料は、7ページであります。

10月もたくさんの行事、委員の出席がメジロ押しでありますけれども、いかがでしょうか。また、各教育委員の出席等につきましては、この後の協議会のほうで詰めていきたいと思っております。

10月定例教育委員会、10月25日、午後1時15分からであります。よろしいでしょうか。では、協議会のほうでまた詰めます。

○報告第3号 後援・共催について

小澤委員長 報告第3号、後援・共催についてです。いかがでしょうか。

上條教育企画係長 資料の補足をお願いいたします。社会教育課の後援案件33番でございます。承認月日が9月21日でございますので、よろしくをお願いいたします。

小澤委員長 これは、よろしいでしょうか。次へ進みます。

○報告第4号 市議会9月定例会報告について

小澤委員長 報告第4号、市議会9月定例会の報告であります。きょう、資料が配付されました。事務局から報告、お願いいたします。

上條教育企画係長 まず1ページをごらんいただけますでしょうか。市議会9月定例会では、教育委員会事務局関係では、ここにあります議案第1号から議案第29号までが9月3日に提出されまして、9月25日、本会議にてすべて原案どおり可決されております。また報告第8号につきましても、報告受理されております。提出議案の内容等につきましては、先の定例教育委員会で内容を事前に報告させていただいておりますので、省略させていただきますけれども、よろしくをお願いいたします。

続きまして、一般質問及び委員会審査の概要につきまして、次ページから部ごとにまとめてございますので、これにつきましては、各部長から主なところを御説明させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

小澤委員長 お願いします。

小島こども教育部長 それでは、2ページからお願いをいたします。一般質問ですけれども、9月10日から12日にかけての本会議、この中の対応でございます。初めに左側、中原巳年男議員でございますけれども、教育行政の中で学校の図書館の蔵書の状況、それから武道具の充実ということで、趣旨といたしましては、①、②それぞれ予算の配分を要望されたものでございました。

答弁でございますけれども、蔵書の関係ではそちらに冊数ございますとおりでありますが、2点ほど訂正をお願いします。3行目、定めた目標数値である「学区」となっておりますが、「学校」図書館でございますので、「区」を「校」に御訂正ください。掲げましたように文科省の標準の冊数を上回る蔵書数ということになっております。引き続き整備をしていくということです。

それから防具の関係では、現在も剣道防具、おおむね必要数が足りているところでございますけ

れど、老朽化等をしておりますので、更新が必要な防具等も追加して購入してまいります。下から3行目「新たに購入」というふうにございますけれども、その「新たに」の次の「購入な」は、削除してください。恐縮です。何回か見たわけですけど、ちょっと見落としがございました。新たに防具を購入するためということで予算も計上しておりますし、授業としては11月くらいから始まるようございますので、そこに間に合うように現在購入の手続きをしていくということでございます。またこの質問の中では、再質問の中で吹奏楽の楽器についてですね、やはりきちんとしたものをそろえていくべきだというふうな御指摘もあったところでございます。

それから右側、古畑議員につきましては、子どもの安全・安心ということで、通学路の点検結果、今後の対応、またいじめでは、学校への指導も含めた御質問でございました。(1)の通学路の点検結果というところでございますけれども、答弁では、今回各小学校で点検をしていただきました。その中で各校から3から5カ所危険箇所が選ばれてまいりまして、次のページにもありますが、市全体では39カ所が抽出されました。これについて、市教委、あるいは道路管理者、関係機関含めてですね、現地を見てその結果に基づく対応策を協議したところでございます。そちらにもございますが、路面表示、カーブミラーの設置等々の改善策を実施しておりますし、今後も対応してまいるといふ答弁でございます。

それからいじめの関係につきましては、これも国のほうで大津の事件を受けて調査依頼があったところですけども、1学期中に関して調査が進められました。小学校9件、中学校7件ということで、既に解決しているものもあるわけでございますけれども、そういった報告をさせていただきました。特に校内の組織的対応、あるいは教育委員会を含めた、連携して早期に解決を図るっていうふうなことで進めておりますので、そういった答弁をさせていただいたところです。

次の3ページのほうをお願いいたします。山口議員でございますけれども、山口議員も通学路の緊急合同点検ということで、経緯と実施内容、さらに対応策、それらの分類というふうな御質問でございまして、かなり多岐にわたる再質問を含めた質問でございましたけれども、議員としては、いわゆる地区の役員の方にも、積極的に子供の安全対策にかかわっていただきたいというふうな御要望等がございました。答弁の中では、(1)の内容につきましては、国が定めた要領に沿いまして実施したということをお答えし、そちらにございましており、39カ所について具体的な対策を立案したということでございます。

それから(2)の分類関係のほうでございまして、実施済みのものも既にございまして、今年度の中で対応するもの、予算措置で来年度以降に実施するもの、さらに抜本的対策が難しいものというふうな分類をさせていただきまして対応しているところでございます。安全対策、積極的に実施してまいりますし、国、県、警察へ要望しながら安全を確保することも必要でございますので、そういった部分でも進めさせていただきます。また、この中では、建設事業部のほうからは、小中学校の交通安全教室の状況、あるいは体験型の自転車安全利用の指導等についても報告をしたところでございます。

右側、森川議員でございますけれども、森川議員につきましては、防災対策、市としての防災対策の全般の中での学校におきます防災教育の内容というふうなお尋ねでございました。東日本大震災におきまして、釜石市の小中学校では、子供たち99.8%の子供が助かっているというふうな例を挙げて、自分で自分の命を守る教育が必要でないかという視点からの御質問でございました。これには、そちらに書いてあるとおり、先ほどの教育長の報告にもあったところですけども、実際の行動ができるように各教科、総合的な学習、避難訓練等々、横断的に実施している点をお答えしておりますし、交通安全教室、あるいは通学上の安全等も含めまして総合的な安全教育、それから安全対策を充実するとともに地域ぐるみの防災・防犯対策、こちらを強化したいという答弁をし

ました。

4ページでございますが、宮田議員からは幾つか教育行政ということで、たくさんの質問をいただきました。初めに左側、Q-Uアンケートでございますけれども、各校の取り組みと全市的に集計して使えないかというふうな御提案がございましたし、②にございますように、アンケートと言っても正直に答えてない事例もあるのではないかというふうな御心配でございます。①の關係の答弁につきましては、アンケートの仕様自体は、御案内のとおり学級単位で活用するためのデータを得るというのが、そういった仕様になっておりますので、まずは学級経営の中で生かしたいというふうな答弁をさせていただいた上で、全市的な分析については専門家の意見を聞きたいということにさせていただきました。

②の正直に回答できない事例等についてでございますけれども、あくまでもアンケート、年間に実施する回数も知れておりますし、そういう中では、まずは生徒指導の一助にして活用していく点と、やはり日常の子供たちの様子、声がけ、面接や保護者の情報交換、そういった部分がやはり欠かせないというふうなお答えをしております。

右側でございますのは、いじめの關係でございます、報告が上がってこない事例が課題ではないか、あるいは②番では、相談しづらい点もありはしないかという御心配でございます。それにつきましては、答弁としてはきめ細かく観察して、いじめにつながるサインを見逃さないというふうな体制で臨んでいること。それから、保護者との情報交換の中から子供たちの状況把握に努めていくというふうなお答えをしたところです。

また、相談しづらいという点につきましては、いろんな相談がございますけれども、まずは組織的に対応しておりますし、これには、それぞれ役割を校内でも分担して窓口を設けている点等もございますので、そういった答弁をさせていただきましたし、教育委員会サイドといたしましても、学校支援コーディネーター、あるいは相談員、スクールカウンセラーなど、サポート体制、整えておりますので、そういった部分必要時に応じて強化していきたいというお答えをさせていただきました。

次に5ページの左側でございますけれども、校内の問題が発生した時には、先生方がマイナス評価を気にする傾向がありはしないか、あるいは、問題提起をして改善しようとする先生が評価されてないのではないかというふうな御指摘ございました。答弁、そこに掲げたとおりでございますけれども、校長あるいは市教委からの指導も徹底しておりますし、そういった中で再発防止に取り組んでいるところでございます。問題については、当然そのこと自体はマイナス要素もありましようが、成果を上げている場合にはプラス要素に加えて最終評価をしているところでございますし、先ほどの問題提起につきましてはプラス評価すべきというふうな基本的な考えをお答えしたという内容でございます。

右側、先生方の多忙感と負担軽減ということで、子供と向き合う時間が少なくなっているとかですね、そういったことへの具体的な対応策はあるかというふうな御質問ございました。御案内のとおり、業務が大変増加していることも事実でございますし、学習指導要領によっては時数も増加しております。そういったこともございますので、中段にございますが、県教委と連携した会議や手続きの簡素化。これは既に県教委からも方向を具体的に示して指示されておりますので、学校もそういった対応をして手を省いている点もございますし、本市といたしましても、市費によって講師、事務職員、養護の先生等々、厚く配置して支援を行っているところでございます。さらに新年度では、学校給食会計の公会計化ということで、学校から会計自体を市に引き揚げますので、給食費集金等含む事務処理については、負担が完全になくなるというふうなことも実施しているところでございます。

6ページをお願いいたします。左側、宮田議員の最後の部分ですけれども、これは教育問題ではなくて、自立と自治の市民社会の実現というふうなくくりの中で、市の入札制度全般について幾つかの御提案含め改善を求める質問をいただいたものでございます。その中で、①に掲げました塩尻東保育園とみどりの郷の調理業務委託。これについての契約ですけれども、なぜ解除できなかったのかという御質問でした。なかなかわかりづらい質問ですけれども、答弁にございますとおり、この施設は平成14年4月に開設しております。調理室をそれぞれの施設で共用して調理しているわけですけれども、その調理業務を開設以来委託してまいりました。これが、平成23年度ですね、業者を決定する際に、基本的に業者決定は先に保育園の入札をして業者を決めて、その次にその業者に絞ってみどりの郷の入札をして契約額を決めるということをしていますので、その平成23年の時には、あらかじめ塩尻東保育園を落札した業者、これがみどりの郷の調理業務の委託契約の入札に臨んだわけですけれども、金額的に折り合いがつかず、要は契約ができませんでした。それ以来、みどりの郷のほうの昼食につきましては外部から搬入をしてですね、お客様に提供している状態が今日まで続いております。なぜそういった変則的なことになるような契約状態で解除できなかったかということですが、一番最後にございますとおり、業務委託の契約をして、それからいわゆる調理をするスタッフを募集してですね、さらに必要に応じてそのスタッフの教育をして現場に入れますので、やはり入札から業務開始までにそこその時間があるわけです。それがどうしても、その平成23年のスケジュールでは日程がとれなかったものですから、保育園の給食のほうは契約ができていますので、そちらを優先して現在に至っているというふうな答弁をさせていただいたところです。

それから、右側、西條議員でございますけれども、安心して生み育てられる環境づくりということで、1点目は子育て環境の状態、それから未満児保育の状況。それから2点目では、両立支援の目的で放課後対策にスポーツ推進委員とか、スポーツ普及委員の方、OBもいらっしゃいますので、そういった方を活用したらどうかという御提案でございました。環境づくりの1点目でございますけれども、こちらの質問の中では、質問の中で保育料の無料化ということが述べられましたので、その点について、現在も国の基準を上回る軽減措置がされていること等を申し上げて、その上で、さまざまな保育サービスを充実させてきていることを申し上げました。それから、未満児保育ですけれども、増加傾向にございますので、保育室を拡張整備する計画もあるといった点を御答弁したということです。

(2)の関係のスポーツ推進委員のOB等の活用でございますけれども、現在もソフトテニスですとか、ドッジボール、卓球も実施しているところです。御提案でございますので、地域の人材発掘に今後も努めてまいりたいというふうなお答えをしたところでございます。

次の7ページは、青木議員でございますけれども、市の施設全体へ太陽光発電を拡大したらどうかというふうな御提案でございまして、その中で、保育園、小中学校の設置状況と、設置が完了する見込み時期。2では、発電量の状況のお尋ねでございました。設置状況につきましては、そちらにございますとおり、小学校が9校中6校、中学校が6校中2校、保育園が16園中4園に設置しておりますし、今後も設置してまいりますけれども、現在のところ、完了時期については見込みがないということをお答えしましたし、発電量につきましては、施設によってこれは大きな差がございます。学校では、現在の発電量から見ますと、単純に量的なものからは、約1割程度の電力が賅えると見込んでいます点を見込んで答弁をさせていただいたということです。

続いて8ページでございますが、こちらは福祉教育委員会の審査でございます。9月20日から21日、2日間にかけてあったわけでございますけれども、先ほど教育長報告にございましたとおり、冒頭、教育長から9月18日に発生しました西部中学校の子供の死亡事故を報告させていただ

き、議員のほうからは、質問の要旨にございますが、要望が幾つかありました。ごらんいただきますように、道路改良、それから通学路の選定によって安全を確保する指導ができないとか、あるいは防犯灯の設置、それから登下校時の反射材の着用を全員にしたらどうかという御提案、あるいは、自転車の乗り方の講習会、さらには通学路安全点検、今回小学校やっていますので、中学校についても早期に実施されたい旨、要望がございました。一括、教育長のほうからは、先ほどもございましたが、交通事故のみならず子供たちの生命を脅かすリスクについて徹底して分析を行って、教育委員会、学校、さらにそういった安全教育に最優先事項として取り組みたいと、また、国、県、警察等とも連携して力を入れたいというふうなお答えをさせていただきました。

右側、森川議員につきましては、決算審査の中で関連した御指摘でございまして、民間保育所が2つ開園いたしましたので、そういった民間保育所ですとか、指定管理制度も活用するなどによって公立で運営する保育園をなくしていくような構想、民営化していく構想もあるかというふうな御質問でございました。担当課長のほうからは、将来的に公立保育園をなくすというふうな考えはないこと、民間保育所もできまして保護者の選択肢も広がっておりますし、民間、公立相互に保育の質の向上につながればよいというふうな答弁をさせていただいたところでございます。こども教育部は以上でございます。

小澤委員長 ありがとうございます。ここで一たん切りたいと思います。たくさんの議員さんから御質問いただいたわけでありまして。教育委員のほうで御質問、御意見等ありましたら、どうぞ。

田中委員 4ページの宮田議員の市内のいじめの状況について、①番、いじめの報告に上がってこない事例が課題ではないかということで、委員として学校訪問で回っておりますうちに、いじめの対策についてマニュアルがありますけれども、件数ゼロと上がっている学校でもよくよくお聞きしてみると、実は1として上げなければいけないような事例もあったように感じましたので、もう一度、どういうところをもってカウントするかということについて周知していただけたらなと思いました。

小澤委員長 この点について教育長からあれば。

田中委員 どうなんでしょう。はい。

渡辺職務代理者 この間、通学路の安全について国から、文科省からの指示で点検が行われたと思うんですけど、県、国を通じてきっと上げていったと思うんですけども、予算的な措置とか、その執行状況みたいなのは今後どうなる見通しなんでしょうか、そのあたりははっきりしているんでしょうか。

小島こども教育部長 先ほども少し触れましたけれども、今年度の既決の予算がございまして、その中で対応するものもございまして、今年度の補正予算です、対応を予定するものもございまして。ちなみに、金額的には安全対策、直接の建設事業部のほうで取り組む対策の中ですけれども、今年度の予算で対応しようとしているのは、実施済みを含めて270万円くらいの安全対策をしようということにしています。それから、12月の補正予算の中では約400万円くらい、追加で安全対策をしようというふうな計画をしておりますし、新年度のほうへもですね、少し大きなものについては計上していく予定でおります。

また、私ども教育委員会として学校教育所管のほうでは、例えばですね、吉田小学校の西側の通用門がありますけれども、あれが少し膨らんでカーブの先に道路が面するものですから、子供たちがここから出る時に左右が見えないというふうなこともありますので、この門を少し下げて左右の見通しをよくしようというふうなこともですね、今年の中で対応したいというふうに考えているところなんです。そんなところです。

渡辺職務代理者 それは、国がある程度予算措置をして、補助事業的なものが今後あるというふう

見てよろしいのでしょうか。

小島子ども教育部長 国のほうではですね、いわゆる安全対策費について財政的な支援をしようというふうなところまでは、今回の緊急点検の中では、国が方向として示しているものはございません。とにかく点検を早くして、改善できる部分を拾い出しをして、出て来たものに対してどんなことをしようかというのが、国の考えでございます。期待としてはですね、新年度に向けて箇所づけする建設事業や安全対策費に、財政支援があればありがたいなというふうに思っている状態でございます。

小澤委員長 森川議員の防災教育にかかわって、過日、市民タイムスさんのほうで避難訓練、各学校における避難訓練の実態について報道してくださいました。それを見せてもらって、学校はいざという時に避難場所になります。吉田小学校では従来の方向にプラスとして、区長さん、あるいは支所長さん、あるいは防犯の方、あるいは災害担当の方たちが実際に集まって、そして避難所としてのシミュレーションをしたという報道がありました。まさに地域ぐるみとして防災に立ち上がっている姿を報道してくださっております、新たなアクションというか、実際に想定して踏み出しているって、そんなことをうれしく思った次第であります。

石井委員 今の委員長の関連ですけれども、広陵中へ行きました時に、先生のほうから避難訓練を学校自体ではしてるんだと。しかし、なおざりになっちゃって危機感がなくてやってるんだということ、そうじゃなくて、やはり消防署あたりから専門家が来ていただいて一緒にやってもらいたいなと。トップダウンで結構ですから、そんなぐあいにしていなければありがたいななんていうような意見も出ておりました。今後、そういったことで、やはり学校内だけで先生が指揮をとってやってたのでは、何か危機感がないというようなことですので、そういった消防署のトップが来てもらって指示をしてもらうとか。やっぱり学校が住民の避難場所になりますので、そこら辺も考えた中でもって指導をいただきたいというようなことも言っておりましたので、よろしく今後の避難訓練の時にはお願いをしたいと思っております。

小澤委員長 子供の通学路の安全確保について、事務局から、各地区に各地区内でできるアクションを起こしてくださいという通知を出しました。早速、片丘地区では、今度の29日、通学路にカラーペイント塗りの作業が計画されました。カラーがちょっと薄くなってきたので、それを塗り直すという動きを区長さん、あるいは安協を中心に地区内総出でやるという動きであります。早速こういうような動きが出て来ておりますので、ありがたいことだと思いました。

石井委員 それについてですね、この間、私たち洗馬地区の中原の交差点が非常に危ないんで、あそこは拡張ということでもって5年ほど前から県へ陳情してあります。この間も地方事務所へ行って、その経過について話し合いをしたんですけども、その時に私は、要するにグリーンベルトと、あの青く塗ってあるのが、本当にそれが優先されるのかどうかということを質問しましたところが、何とも答えられないと。要するに、それがすべてではないというような意味合いのことだったんです。この前に私が質問した時には、建設課のほうで警察と話し合っ、それはもう絶対的なものだというような、ここでお話を聞いたんですけども、地方事務所の建設課ではそんなことを言うてましたので、もうちょっと公安委員会とよく話し合ってもらわないといけないのかなというふうに思っておりますので、またそんな機会があったら。市の建設課と警察と相談したところが、いいということですね。ちょっとその辺が食い違ったものだから心配をしておりましたけども。中原の交差点も今、公安委員会の設計でいきますと、あそこの家が半分なくなったり、1軒全くななくなったりというような。それから、県道の交差点というのはやはり全面的に80メートルくらいずつ引き下げなきゃいけないと。そこだけを上げただけじゃだめだというようなことで、前後80メートルは必要だというようなことで、難しい面がありますけれども。そんな事例がありましたのでよろしくお

願いたいんですが。

小澤委員長 ありがとうございます。

それでは、生涯学習部のほうへ移ります。お願いします。

加藤生涯学習部長 それでは、生涯学習部関係、9ページでございます。左側、山口恵子議員でございますけれども、男女共同参画の立場からの防災・災害対策についてということでございます。具体的には、第三次の塩尻市男女共同参画基本計画の中に、防災等々について具体的に記載がないというような部分もございます。これにつきましては、基本計画の中であらゆる分野への男女共同参画の促進を基本目標と掲げているということで御答弁をさせていただきました。また、防災会議を含む各種審議会等の委員の登用等についても、それぞれお願いしているところであると。また、防災会議、ここに記載はございませんけれども、先の議会の中でも、6月にも出ておったわけですが、防災会議のほうに女性の視点からということで8名の登用をしているというようなことに、具体的に今回盛り込むということになっております。

また、2つ目としては、市民協働による取り組みについてということございまして、それぞれ地域の中で女性リーダーの育成等々を図ってまいっているということでございます。中でも、私のほうの答弁の中では、ここには第二質問でございましたけれども、避難所等の中で、例えば離乳食がないとかですね、長期間になってくると、ミルクはあるんだけどお湯がないとかですね、いろいろの欠けた点、やはり男性ではわからないような、また気がつかないような点があるということを含みながら、今後、市民協働による取り組みを図ってまいりたいというような答弁をさせていただいたところでございます。

続きまして、西條富雄議員でございますけれども、スポーツに親しめる環境と機会についてということございまして、1つとしまして、市民みな1スポーツの推進状況ということでございます。これにつきましては、より身近なウォーキング講座、また各種スポーツ教室、ファミリースポレクなどイベントの開催等によって、スポーツを始めるきっかけづくり、またスポーツ環境の提供に努めているということで、これについて、結果、市民みな1スポーツの定着を図ってまいりたいという御答弁をさせていただいたところです。

また、指導者の育成、支援の状況ということで予算が減額されるのにどう取り組んでいるかというような部分でございますけれども、各団体を通じての指導者の育成、またレベルアップの講座の開催、各種講習会等への参加の啓発などを行って、今後も限られた予算の中ではあるけれども、事業の組み立て等も考えながら効率的な運用に努めてまいりたいという御答弁をさせていただきました。

引き続き、健康とスポーツの部門の統合をしたらどうかというような御提案をいただいたところでございますけれども、現在、スポーツ振興課と健康づくり課、部を越えた形ですね、ヘルシーフィジカル教室を現在行ってきている経過もあります。今後とも、効率のいい効果的な方法があれば、それぞれ検討してまいりたいという御答弁をさせていただきました。

ページおめくりいただきまして、10ページでございます。また西條議員、一連のスポーツに関する御質問の中で、スポーツ施設の状況、整備状況、具体的に整備の状況等々はどうかというような部分でございます。まず体育施設、昭和40年代から平成元年にかけて、中スポあたりが平成元年前後でございますけれども、整備したもので、経年による老朽化等々が目立っているというようなことございまして、計画的な改修、また安全にかかわるものについては速やかな補修等を行っておるというような回答をさせていただきました。

また、市民から寄せられる多数の要望、または改修要望等への考え方ということについてでございますけれども、やはり限られた予算の中ではあります。この中で利用者の安全を最優先としながら、

考慮しながら最優先順位を検討し、計画的に実施していくというような一般的な御答弁になっておりますけれども、今後、実施計画等で計画していくというようなことでございますので、よろしく申し上げます。以上です。

小澤委員長 ありがとうございます。生涯学習部について。

石井委員 今の施設の話が出ましたけれども、これ、学校の施設も今、社会体育でいろいろとお借りして使っております。それで、一番問題なのはですね、小中学校全部を見ますと、バックネットの下がコンクリートなんですね。ブロックを積み上げていって、そしてそれから上が金網であると。そのブロックはいいんですけども、そこへ保護するためにですね、マットかなんか、そういうものがありますので、それを各学校のバックネットのところへ設置をしてもらいたいなど。広陵中で事故がありまして、一時意識不明になったというようなことで、サインがあったというようなこともありますので、小学校は、野球やらないからバックネットはそんなに関係ないよって言うかもしれませんが、社会体育でもお借りしてると。それから、小学校はソフトボールが教科にありますので、やはりバックネットも必要かなと思いますので。そんなにお金のかかるものじゃないので、広陵中からは上がってますよね。直してっていうか、そんな話もありましたので、ぜひ各学校全部やってもそんなに大した金額じゃありませんし、小学校のバックネットはそんなに大きくはありませんので、そういったことで一つ安全を期してもらいたいなど、そんなぐあいに思います。市で管理してる施設で、けがをしたとか何とかってことになる大変なことです。本当は、小学校の場合には、ホームプレートからバックネットまで12メートルという規約があります。野球場ってのは、これが正規だよっていうのはありませんけれども、ホームプレートからバックネットまでは12メートル、一般は18メートルって、そこだけは決まっています。だから、そういうことで。今、校庭が狭くて、こっち側でサッカーやって、こっち側で野球やるって。ピッチャープレートをずっと下げて、ホームプレートも下げてますので、余計狭くなってるということで、一つ、大ごとにならないうちに、予算の件もあると思いますけども、お願いをしたいと思います。これは、学校教育のほうと社会学習のほうと一緒に、一つお願いをしたいと思います。

加藤生涯学習部長 答弁はいいですね。

小澤委員長 市営球場は、外壁っていうか、壁はむき出しですか。

石井委員 市営球場はやってあります。

小澤委員長 防護やってありますか。

石井委員 フェンスはね。市営球場のバックネットは、金網をずうっと下まで。刈り込みのあるところから、普通そうなんですけど、コンクリートの建物のあるところから1メートル離れたところへバックネットをずうっと離して、敷地の中へ向いているという状態です。今みんなもう、そこら中、こっち側に本部席があって、そこはあれになってますけども、甲子園へ行っても後樂園へ行ってもそうですけども、ずうっとみんなラバーを張ってやっていますので。そんなにかからないと思います。1メートルくらいの高さですので、見積もり取れって言えば、すぐ取れますけど。

小澤委員長 また、お考えいただきたいと思います。

田中委員 9ページの西條富雄議員の、健康とスポーツの部を統合したらというようなところのお話で、健康づくり課のほうかなと思うんですけども、市で国保特定健診をやっている、問診票に、これから運動するつもりがありますかとか、おおむね何カ月以内に始めますかという問診があるかと思うんですけども、統合しなくてもそれと連携して、塩尻市では、市民みな1スポーツに取り組んでますっていうような一言を添えると、もう少し早めのうちから運動を始めようかなと思う方も出てくるかと思うので、そういった意味で連携がとればいいかなと思いました。

石井委員 その問題はですね、最初、健康スポーツ担当という課だったんですね。私たちがやってる

ころはそういう課でして、その時に、スポーツ宣言都市をやろうということで、その宣言文を非常に苦労して考えました。スポーツだけなら簡単にできたけれども、健康の分野が一緒だったものですから、あんな長い宣言文になったわけですけども、そんなことをしてやってきましたけども、確かに両立してやってくることが大事かと思ってもいますけども。

小澤委員長 ありがとうございます。勉強になりました。それでは、生涯学習部、よろしいでしょうか。市民交流センター、お願いします。

田中市民交流センター長 市民交流センター関係、資料の11ページをお願いいたします。まず、中原巳年男議員からなんです、市民交流センターの利用状況について幾つか御質問いただいております。市民交流センター自体がオープンから2年と2カ月くらいになるんですが、延べ130万人の皆さんの御来館をいただいているような状況です。特にですね、図書館についての御質問がございましたので、ここに記載をしてあります。図書館本館につきましては、平成18年度と23年度の比較で御答弁をしてありまして、貸出冊数については21万冊が50万冊ということで、約2.4倍の伸びになっておりますということ。また、新規の登録者につきましても3.2倍という状況でふえていますという状況もお答えをしてあります。それから、図書館全体の関係なんです、貸出冊数が年間で66万2,000冊ということで、全国と同規模の図書館の10位以内に入るような状況になっております。また、一人当たりの貸出冊数につきましても9.8冊ということで、平成22年度に引き続きまして、県下19市中では1位という状況をお答えしてございます。

それから、次、青木博文議員の関係なんです、太陽光発電についてどういう取り組みをしているかということでございまして、市民交流センターには4つの吹き抜けがあるわけなんです、そのうちの1つ、児童書コーナーと子育て支援センターのある太陽のコートの部分、ここの天井にですね、太陽光パネルが張ってございます。自然光を取り入れながら太陽光発電を行っているということで、発電量自体は若干少ないわけですが、年間の発電量を換算しますと、児童書コーナーの照明の年間電力を賄っているということをお答えをしてあります。

あと、本会議の中、ここには書いてございませんが、西條議員のほうから、再質問でですね、子育てサークルあるいはグループ等の情報発信の状況について御質問をいただいております。

それから、ページめくっていただきまして12ページになりますが、委員会の中での御質問であります。金子議員のほうからですね、まず1点目につきましては、市民活動支援をある団体に委託をしているわけなんです、その支援のあり方をさらに研究してほしいという思いがございまして、御質問をいただいております。詳細な資料等の提出をさせていただきまして、ちょっと細かい数字になりますが、時給単価が実績とどうであるとか、そういったことを御質問されながら、さらに研究を進めてほしいと、こういう御質問でございました。

2点目につきましては、協働のまちづくりの推進委員会を、委員10名で設置してるわけなんです、その活動をですね、さらに活発にしてほしいと。そういう思いの質問でございまして、委員の構成でありますとか、提案公募の選考のみが主な業務になっているのではないかとかですね、そんなような御質問をいただいております。以上でございます。

小澤委員長 ありがとうございます。市民交流センターに対してどうですか。

田中委員 今の御説明にありました協働のまちづくり推進委員会の委員ですけど、委員さん方がされている活動ですが、協働のまちづくりや市民活動への指導助言等を協議して下さってるということですが、具体的な例で主なものがありましたら、どんな御助言をいただいているか教えていただきたいなと思ったんですが。

田中市民交流センター長 現在、NPOの数が26なんです、塩尻市内につきましては、このレベルで全国と比べますと、いいほうなんです、あまりパイがふえていないんですね、どういった

方策があるかと、そういったことで1点、多くの御意見をいただいています。なかなかこれはすぐ実るっていう状況ではないものですから、できるだけ底辺をふやしていく、そういった御意見をいただいています、今、提案公募事業の見直しも並行して進めているものですから、それに向けてですね、さまざまな御提案をいただいている、そんな状況です。

小澤委員長 よろしいでしょうか。ありがとうございました。

4 議事

小澤委員長 きょう、議事はございません。

5 その他

小澤委員長 その他の案件も以上であります。事務局のほうから何かありましたらお願いします。

中野生涯学習部次長（社会教育課長） では、2点ほど報告をさせていただきたいと思いますが、1点はこの青いチラシでございますけども、広丘地区の皆さん、短歌の郷づくりというようなことで地域挙げて御協力いただいております、今回の26回の短歌フォーラムにあわせて、広丘小学校の6年生が見てある記の案内をするということで、学習の一環として、広丘地区の駅前から短歌館に向けての地図をつくりました。多分6班に分かれてつくったかと思っておりますけども、6種類でき上がりました。それを広丘青年商工会の皆さんが印刷して地域の皆さんに配りたいと、こういう話が持ち上がりまして広丘青商のほうで印刷をいたしまして、29日の朝刊の折り込みで広丘地区の皆さんにはお配りする、こういうお話を聞いておりますので、一応私どものほうにもこうやってチラシが届きましたので、こういう取り組みがありますということを御紹介させていただきました。

もう1点は、短歌フォーラムが昨年で25回を迎えたということで、前々からちょっとお話ししていましたけども、25回の記念歌集の作成ということで、9月15日にNHK出版から全国販売がされましたので、お手元のほうに1冊ずつお届けをしております。大変申しわけないんですけども、1冊2,310円で税込みとなっておりますので、もしよろしければお買い求めいただければと思います。非常に25年間を振り返るのもいいですし、短歌そのものについて知っていただく部分、非常にいいかなと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。以上です。

小澤委員長 ありがとうございます。

上條教育企画係長 お手元に資料とチラシを配らせていただきました。8月の協議会の折にも概要について御説明申し上げまして、その後準備を進めております、子育てと教育を考える首長の会 in 塩尻、10月4日、5日の開催に向けまして、1ページ目にありますように、開催の概要がほぼ決まっております。参加者につきましては、次のページから3ページ分ございますけれども、全国の市町村長、長野県内も含めますけれども、多くの皆さんの参加をいただきます。1ページ目の開会行事のところにありますように、文部科学省から生涯学習政策局長が出席をいただけることになりましたし、講演会は、御案内のように片山善博前総務大臣、慶應義塾大学法学部教授が講演に来ていただく予定でございます。また、会場を移しまして市民交流センターで研究会を開催いたします。慶應義塾大学文学部教授の糸賀雅児先生は、片山先生の講演会の実現に向けて多大なる御助力をいただいておりますけれども、この方も図書館を中心とした生涯学習、社会教育推進の専門家でございます、こういう方々も助言者として招きながら、塩尻市の実践報告としまして、元気っ子応援事業と塩嶺体験学習の家を活用したことも未来塾事業ということで開催地としての発表をさせていただきます。また、参加首長による事例発表ということで、大分県豊後高田市の市長が、教育のまちづくりの取り組みについて。また北海道東神楽町の町長が、町での取り組みについての

御報告をいただくということでございます。

教育委員の皆さんにつきましては、この講演会そして研究会に、御都合がつけばぜひ御参加いただきまして、全国から集まったの講演会、研究会ということでございますので、よろしく願いいたします。

小澤委員長 ありがとうございます。そのほかに御説明等ございますか。

6 閉会

小澤委員長 本日本日予定されている案件は、すべて終了いたしました。それでは、以上で9月の定例教育委員会、終わりいたします。ありがとうございました。

○ 午後2時40分に閉会する。

以上